

革命思想 その原基の奪回

「革命思想」は、人類の歴史の中で、最も重要な役割を果たしてきた。それは、社会の進歩と変革の原動力となってきた。しかし、現代社会においては、革命思想の原基が奪われ、その本質が歪められている。本誌は、この危機を告げ、革命思想の原基を奪回することを訴えている。

革命思想の原基とは、人類の共通の理想と信念である。それは、自由、平等、正義の追求である。しかし、現代社会においては、資本主義の発展に伴って、これらの理想が歪められ、物質主義と利己主義が蔓延している。本誌は、この歪みを正し、革命思想の原基を奪回することを訴えている。

本誌は、革命思想の原基を奪回するために、読者に以下のことを呼びかけている。

- 1. 革命思想の原基を学ぶ
- 2. 革命思想の原基を伝える
- 3. 革命思想の原基を実践する

本誌は、革命思想の原基を奪回するために、読者の力を借りていく。読者の協力と支持を、心からお願いする。

書評 「アイヌ革命論」 「革命情報認識」 太田竜著

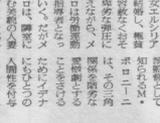


太田竜著の『アイヌ革命論』と『革命情報認識』は、現代社会における革命思想の重要性を論じた力作である。『アイヌ革命論』は、アイヌ民族の歴史と文化を背景に、革命思想の原基を掘り起こしている。『革命情報認識』は、革命思想の伝播と実践のメカニズムを分析している。

『アイヌ革命論』は、アイヌ民族の歴史と文化を背景に、革命思想の原基を掘り起こしている。アイヌ民族は、長い歴史の中で、独自の文化と信念を築き上げてきた。その信念は、自由、平等、正義の追求である。この信念は、革命思想の原基となってきた。

『革命情報認識』は、革命思想の伝播と実践のメカニズムを分析している。革命思想は、どのようにして伝播し、実践されてきたのか。そのメカニズムを明らかにすることは、革命思想の原基を奪回するために不可欠である。

映画紹介



「わが青春のフロレンス」は、現代社会における青年の苦悩と理想を描いた力作である。主人公は、理想を抱きながらも、現実社会の厳しさに直面している。この映画は、青年の心を揺さぶる力作である。

「わが青春のフロレンス」は、現代社会における青年の苦悩と理想を描いた力作である。主人公は、理想を抱きながらも、現実社会の厳しさに直面している。この映画は、青年の心を揺さぶる力作である。

5.25新入生歓迎映画講演集会

5月25日(土)午後7時、大講堂にて新入生歓迎映画講演集会を開催します。講演者は、太田竜氏です。内容は、革命思想の原基と実践についてです。

吸血鬼 誰かサソリを 知らないか



「吸血鬼 誰かサソリを知らないか」は、現代社会における人間の暗黒面を描いた力作である。吸血鬼は、人間の欲望と弱さを象徴している。この映画は、人間の暗黒面を暴く力作である。

「吸血鬼 誰かサソリを知らないか」は、現代社会における人間の暗黒面を描いた力作である。吸血鬼は、人間の欲望と弱さを象徴している。この映画は、人間の暗黒面を暴く力作である。

裁判闘争勝利に向けて

裁判闘争は、社会正義を実現するための重要な手段である。勝利に向けて、我々全員が力を尽くさなければならない。正義は必ず勝つ。

裁判闘争は、社会正義を実現するための重要な手段である。勝利に向けて、我々全員が力を尽くさなければならない。正義は必ず勝つ。

不当起訴被告アピール

不当起訴被告のアピールは、正義の叫びである。不当な起訴に対して、我々全員が声を上げなければならない。正義は必ず勝つ。

不当起訴被告のアピールは、正義の叫びである。不当な起訴に対して、我々全員が声を上げなければならない。正義は必ず勝つ。



少進部政治革命 「下向の革命」の復讐

少進部の政治革命は、社会の進歩と変革の原動力となってきた。下向の革命は、社会の不正を正すための重要な手段である。我々全員が力を尽くさなければならない。

少進部の政治革命は、社会の進歩と変革の原動力となってきた。下向の革命は、社会の不正を正すための重要な手段である。我々全員が力を尽くさなければならない。

学生ローン —地下鉄白山駅下車— 東洋大学のすぐそば 白山産業

学生ローンは、学生生活を支えるための重要な手段です。東洋大学のすぐそばにある白山産業が、学生に最適なサービスを提供しています。ぜひご利用ください。

学生ローンは、学生生活を支えるための重要な手段です。東洋大学のすぐそばにある白山産業が、学生に最適なサービスを提供しています。ぜひご利用ください。

■部活解放同盟大阪府連製作
狭山の黒い雨
5月20日～6月1日迄東京各地で上映
前売券(割引券)500円
しょう組と、秀の発祥は東洋大学演劇部へ

■近日上映
●「ジョジョ・メリエー短編映画」
●「ラジヲ作品」
●「怒重伝一泊三平」
●「場所・時間不定」
連絡先：学生課 電話 538-6765 (東田花子)

5.25新入生歓迎講演映画集会

■講演 湯浅赴男「現代世界と民族問題」
■映画 「わが青春のフロレンス」
●場所 大講堂 1時より
●入場料 250円(新入生200円)

腐蝕せる「情況」上の理想的対決を経て、自らの反抗心を鋭くさせよ 全ての新入生諸君、我々新聞学会の提示せる講演映画集会へ、断固結集せよ
まさしく青年を機械の如く、型さしめるこの現代社会。「幻想」が「幻想」として強制され自覚させられる時、ならば「幻想」(スクリーン)の中へ自らを投入せよ。
反抗を「幻想」(スクリーン)から獲得し自らのものとしてよ。ブルジョア共は、我々の反抗をそらすため「国境」と「民族」の概念を押しつける。反抗によって「国境」を越え、「民族」の名による悪を破壊せよ。そして、全世界の友人たちと「同志的連帯」を克ち取れ!

主催 東洋大学新聞学会